



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

### ネットスケープ モジラプロジェクト(B)

2001年7月、サンフランシスコの有名ナイトクラブが2年間の改装を経て完成した。「DNA  
5 ラウンジ」と名づけられたナイトクラブのオーナー、ジェイミー・ザウインスキー(Jamie  
Zawinski)は笑いながらこう語った。「たしかに遅れたし、予算もかなりオーバーしたよ。そ  
れでも、モジラほどは遅れなかったがね」

ザウインスキーが去った1999年4月以後も、以前ほどの注目は浴びなくなったものの、  
10 モジラプロジェクトは地道に継続された。ネットスケープ社を買収したAOL社は、モジラ  
プロジェクトに対する支援をネットスケープ時代と同様に継続的に続けた。AOL社が支援を  
続けるいくつか理由がある中で、もっとも考えられるのはマイクロソフト社がインターネ  
ットエクスプローラー(IE)をプラットフォームにして、hotmailやMSNといったインター  
ネット上でのコンテンツサービスにも力を入れ始めたことへの対抗策ということがあった。  
15 そもそも、AOLとマイクロソフトは非常に近い関係で、密接なアライアンスも結んでいた。  
AOLはインターネットエクスプローラー(IE)を推奨ブラウザとする代わりに、AOLアイ  
コンをIEに埋め込みさせ、IEのユーザであればワンクリックでAOLに加入できる手軽さを  
武器に新規顧客を得ていた。同時にマイクロソフトにとっても、IEを広げる上でAOLのコ  
ンテンツサービスとAOLの大きな顧客基盤は非常に魅力的であった。しかし、マイクロソ  
フトがIEのシェア獲得だけにあき足らず、AOLの独壇場であったコンテンツサービスを提  
20 供しようとする、2社の関係はまるでかわってしまった。AOLがどちらかといえばインタ  
ーネット初心者に向けて丁寧なコンテンツサービスや操作容易なインターフェイスを提供し

---

このケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールの浅川和宏教授の指導の下、慶應義塾大学ビジネス・スクールMBA学生(M26)の佐藤恭平が公開資料に基づき作成したものである。当ケースはクラス討議の資料として作成され、経営管理上の適否を例示するものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、ケースの複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール(〒223-8523 神奈川県横浜市港北区日吉本町2丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail case@kbs.keio.ac.jp)。また、ケースの注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/case/index.html>。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、本ケースのいかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またはいかなる方法(電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない)による伝送は、これを禁ずる。

Copyright©2004は浅川和宏、佐藤恭平が保有する。